

2006年公民科倫理2学期中間考查(3年1,2,3,4組) 正解と解説

大問	問題番号	正解	正答率	配点	大問	問題番号	正解	正答率	配点
1 58.1%	1	1	68	2	4 71.0%	26	1	77	2
	2	3	84	2		27	3	75	2
	3	1	43	2		28	2	74	2
	4	4	55	2		29	2	64	2
	5	4	49	2		30	4	65	2
	6	4	67	2	5 44.6%	31	1	77	2
	7	1	59	2		32	1	31	2
	8	2	35	2		33	4	15	2
	9	2	24	2		34	4	62	2
	10	3	70	2		35	3	29	2
	11	2	66	2		36	2	60	2
	12	2	48	2		37	2	50	2
	13	2	58	2		38	1	46	2
	14	3	57	2		39	4	49	2
	15	4	88	2		40	1	27	2
2 57.0%	16	3	43	2	6 43.3%	41	2	47	2
	17	4	72	2		42	1	68	2
	18	4	50	2		43	2	48	2
	19	3	75	2		44	3	41	2
	20	2	45	2		45	2	30	2
3 53.8%	21	4	81	2		46	2	36	2
	22	2	56	2		47	1	14	2
	23	4	40	2		48	1	39	2
	24	5	50	2		49	2	37	2
	25	4	42	2		50	3	73	2

・ 2学期中間考查度数分布

平均  
53.6 点  
  
最高点  
88 点  
(2名)  
  
標準偏差  
13.6

点数	頻度	累積
95~100	0	0
90~94	0	0
85~89	2	2
80~84	5	7
75~79	9	16
70~74	12	28
65~69	11	39
60~64	17	56
55~59	15	71
50~54	36	107
45~49	23	130
40~44	25	155
35~39	11	166
30~34	9	175
0~29	4	179

・ 1学期期末考查度数分布(前回)

点数	頻度	累積
95~100	0	0
90~94	9	9
85~89	7	16
80~84	13	29
75~79	11	40
70~74	22	62
65~69	18	80
60~64	18	98
55~59	21	119
50~54	30	149
45~49	8	157
40~44	8	165
35~39	8	173
30~34	2	175
0~29	3	178

# 2006 年片岡担当倫理 2 学期中間考査 解 説

## 考査全般について

今回は多少難しめの問題を取りそろえてみました。特に日本仏教(大問5)と日本儒学(大問6)の平均正答率が40%台前半だったように、この辺に苦戦した生徒が多かったようです。難問ではあっても、必ず正解への道筋があります。出題者の意図というものもあります。それはセンター試験も同様で、難問の正解をどのように導くかということ、簡単な問題を絶対に落とさないことが大切です。

逆に正答率が高かったのが日本古代の思想と宗教でした。結構常識で解ける問題でしたね。

## 第1問

### 問1 [1]正解 1 68%

堯・舜・禹は中国古代の伝説的帝王です。理想的な仁政をおこなったとされ、儒学では聖人として扱われています。禹は夏王朝の始祖とされていますが、夏王朝を倒して殷王朝を開いたのが湯王。殷王朝を討ったといわれるのが文王の子、周の武王です。武王の子が周公旦。周公旦は周の礼楽を定めたといわれる聖人です。

### [2]正解 3 84%

この問題を解くポイントはリード文にあります。「外には礼によって、失われた秩序を回復し、内には人に接するに[2]をもってすべきことを説いた」ということから、【外部=礼】VS【内部=?】というような図式で考えましょう。「人にして仁ならずんば礼を如何せん」これは資料集 p.81 にある論語の言葉です。

### [3]正解 1 43%

これはサービス問題のつもりだったのに！孔子に始まる儒家は基本的には徳治政治の立場をとります。礼楽に基づき統治者が徳性を持つことによってその徳性は天下に広まるという考え方です。儒家の思想家孔子はそれを王道政治として把握し、同じく儒家の思想家荀子はそれを礼治政治として把握します。きちんと勉強した人のパーセンテージが43%ということかな？

。(一\_一メ)

### [4]正解 4 55%

これはリード文の読解力を問う問題です。朱子学が「倫理学の本来性」を取り戻す一方で、「天地万物の根源」や「人」をも明らかにするのですが、それは「何」論ですか？

何と3割近くの人が①の精神論を選んでしまいましたが、段落の後半を読めばそれが「天地」や「人」を論ずる宇宙論であると分かったはずですね。ちなみに、「機械論的自然観」といえばデカルトのキーワード、「神即自

然の汎神論」といえばスピノザのキーワードです。

### 問2 [5]正解 4 49%

中国思想における天のイメージは時代によって異なる部分もあります。(授業プリント p.31 あるいは資料集 p.78 天の思想参照) ①は福沢諭吉の天賦人權論ですね。②を選んだ人は29%いましたが、古代中国人は天の意志を知るために占いをやってたわけですね。それがト占(獣骨・亀甲を焼いての占い)であれ易占(筮竹による占い)であれ、天の意志を知ることが不可能だったら意味のない事になってしまいます。③はアニミズム的な日本の霊であって天ではないですね。

### 問3 [6]正解 4 67%

諸子百家の基本的な間違い探し！①の鄒衍は兵家ではなく陰陽家の思想家。②の陰陽五行説の五行は木火土金水(もっかどこんすい)！皆さんの五行が循環するように、間違えた人は「もっかどこんすい」と5回唱えなさい。記憶力が5%UPするかもしれません。③一応プリント p.32にも、資料集 p.79にも秦王朝(始皇帝)が採用したのは「法家思想」と記載されているはず。④の荀子に学んだとされる法家の韓非子は漢文にもよく出てくるんじゃないの？有名な「楚人有鬻盾与矛者」は韓非子ですよ。

### 問4 [7]正解 1 59%

儒家と墨家の思想の比較ですが、これは資料を読み取る力を問う問題です。資料の中では、「義」はいずれも正義としてとらえられていますが、『墨子』の方はその内容についても詳しく述べられています。ここでは、正義に基づいた政治の在り方が、天と靈魂と人に「利」を与えるとして、「義」と「利」が結びつく形で説明されていますが、『論語』では、「義」と「利」は全く別物としてとらえられています。ということで①が正解となります。

### 問5 [8]正解 2 35%

これは正答率が低い!(-\_-#) 消去法で解く問題です。④を正解と答えた人が34%いましたが、孟子の四徳は「仁義礼智」でしょう、前漢の学者、董仲舒がこれに「信」を加えて五常としたのです。①は良知良能いずれも人間に備わっているというのが孟子の考え。②の原文は資料集 p.85の「人の是の四端あるは猶その四体あるがごときなり」に由来しますが、知らなくても消去法で解けるはず。③を選んだ人は四端と四徳の結びつきが分からなかった人です。羞惡の心が義となり、是非の心が智となるのですよ。

### 問6 [9]正解 2 24%

やっぱりこの手の問題に弱いですね。五倫・五常をきちんと覚えておくことも大切なことです。倫理受験の皆さん、5秒以内に5回唱えましょう。「親・義・別・序・信」

### 問7 [10]正解 3 70%

これは7割の正答率で安心しました。全部だれの言葉か知っておく必要があります。①は徳治政治の孔子の言葉。②は儒家批判の老子の言葉。③の偽=人為=善という発想は礼治政治の荀子の言葉。④「恒産なければ恒心なし」は

結構民主的な孟子の言葉です。

**問 8 [11]正解 2 66%**

文系だったらやっぱり「四書・五経」くらい知っておきたいと思いませんか？ 漢籍にも詳しくあった夏目漱石が四書五経を知らない大学生が存在すると知ったら絶対嘆くはずです。四書とは『論語』『孟子』『大学』『中庸』。ハイ、それでは声を揃えて「学庸論孟」！あと3回唱えましょう。五経とは『易経』『書経』『詩経』『礼記(らいき)』『春秋』ですね。勝手に唱えておいてください。

**問 9 [12]正解 2 48%**

これは単純な知識問題です。①～③は知っておく必要があります。①『伝習録』は朱子ではなく、王陽明(守仁)の語録です。②が正解です『四書集注』は四書の注釈で、朱子が最も力を注いでいたものだといわれます。③『中庸』は四書のうちのひとつ。『礼記』の中の一つですが、孔子の孫の子思の作ではないかといわれています。④の『太極図説』は資料集 p.93 にイラストが記載されている、宋学の創始者、周敦頤(周濂溪)の著作です。○であらわされる太極から万物が生成するプロセスを示した「易」にもとづく哲学です。

**問 10 [13]正解 2 58%**

この問題もリード文の文脈から解答を導いて欲しかった問題。「心を純粹専一の状態に保つ [ A ] と事物について読書問学をとおして理を窮めることの両面」この文章は「[A] と窮理」というように要約することができます。窮理とセットになっている概念はそう、「居敬」ですね。「敬」とは心の集中に他なりません。①心斉は荘子の用語。④禪定は仏教用語です。③の性理はいうまでもなく、「性即理」に由来しますが、周敦頤(周濂溪)にはじまり程顥(程明道)・程頤(程伊川)を経て朱熹に至る道学を総称して「性理学」と言います。

**問 11 [14]正解 3 57%**

「性即理」を主張し、心を性と情に分離し、性によって心を支配すべしとした朱子に対して、王陽明は「心即理」を唱えて、心は全体そのまま、一切の外的権威から自由になって新たに天理を発見するのだと説きます。陽明学は心学ともいわれますが、朱子学のように「心」に分析を加えず、その生き生きとはたらく当体をただちに「理」とみなして、後天的にこびりついた利欲を除去して本心の輝きを回復せよと説いたのです。

**問 12 [15]正解 4 88%**

これは漢文の問題と言っても過言ではありません。論語の中の「君子」は②の「学問や修養に志す人」でもありますが、④の「徳の高いりっぱな人物」でもあります。「亦～からずや」とは「なんと～ではないか」という反語表現ですね。「なんと悦ばしいことではないか!」「なんと楽しいことではないか!!」に続いて3つ目に「誰も自分を認めてくれなくても不満に思わないなんて。なんと!～」と来れば文脈的に「立派な人!!!」でしょう? 「なんと学問や修養に志す人」ではしっくりきません。

## 第 2 問

**問 1 [16]正解 3 43%**

老子は儒家をどのように批判したのでしょうか? それは、問題番号 [10] で選択肢に使った、「大道廢れて仁義あり、智慧出でて大偽あり、六親和せずして孝慈あり、国家昏乱して忠臣あり」です。「道」が廢れて世が乱れたから仁義、智慧、孝慈、忠臣が説かれるようになったが、世の乱れに対しては自然の「道」に立ち返るべきであることを述べています。

**問 2 [17]正解 4 72%**

これは④がバッチリとプリントにも載せた「徳治政治」の『論語』の言葉ですから、見分けるのが簡単な問題でした。①②③が『老子』の言葉であることもプリントにメモっておきましょう。こうやって、問題演習のたびにプリントへの書き込みを増やすことが、センター試験の前日の精神安定剤と高得点に結びつくのですよ。

**問 3 [18]正解 4 50%**

ちゃんと「適当でないもの」選べましたか? 「儒家型」の発想と「老荘道家型」の発想ってはっきり違うでしょう? ギリシャ哲学の用語でいうと、ノモス(人為のルール)重視の儒家に対してピュシス(自然)重視の老荘道家ですよ。思想や概念を図式的に考えることが大切です。あなた自身の思想や概念を生む秘訣がそこにあるのですよ。

**問 4 [19]正解 3 75%**

これも荘子の概念を理解しているかということに加えて、資料読解活用能力と思考・判断能力を問う高度な問題です。まずは荘子の「万物斉同」という概念を理解しているかな? 「万物すべては道の観点からみれば等価値」であるということですよ。みみずもおけらもあめんぼも、そしてあなたも道の絶対性の前ではたいした差はありません。夢と現実も、さらには生と死もたいした違いではないという相対的な概念なのです。そう考えれば赤点も満点もたいした違いはないかな? 冗談はともかく、②は渾沌の寓話を、④は大鵬の寓話をモチーフにした選択肢です。ピンとこない人は資料集 p.89 を今すぐチェック!

**問 5 [20]正解 2 45%**

これはちょっと難しかったかな? 陰陽二気説が描かれるのは『易経』ですから、儒家ですね。

## 第 3 問

**問 1 [21]正解 4 81%**

イスラームは豚肉を食べることは禁じられていますが、正しくアッラー一名が唱えられて屠殺された豚肉以外の肉を食べることはできます。偶像崇拜に対する厳しい態度がムハンマドの顔すら描くことを禁じるわけですね。

**問 2 [22]正解 2 56%**

クルアーン(コーラン)はアッラーが天使ジブリールを通してムハンマドに伝えた言葉であるといわれています。

ですから④はハズレ。③はアッラーの前ではすべての信者は平等ですからハズレ。①は旧約聖書ならイスラエルの民と神との契約です。

**問3 [23]正解 4 40%**

①はゴータマ・ブッダのイメージ。②の大工はイエスでしょ？ ③ムハンマドにクルアーンを伝えたのがジン(精霊、霊鬼あのアラジンの魔法のランプに出てくる奴!)だったらすべてまやかしですからね。イスラムにおいてはジンではなくあくまでも天使です。2枚の石版はモーセの十戒のイメージです。④の夜の旅と昇天のエピソードはプリント p.41 参照のこと。

**問4 [24]正解 5 50%**

イスラームのアッラーがユダヤ・キリスト教のヤハウェと同じ神であるということが分かっているならば簡単な問題。聖母マリヤの前に現れた天使ガブリエルとムハンマドに現れたジブリールも同一人物、いや同一天使です。

**問5 [25]正解 4 42%**

イブン・ルシュドはラテン語ではアヴェロエスと呼ばれたアリストテレスを研究したイスラームの哲学者です。つまりアリストテレス哲学はイスラムから逆輸入されて、キリスト教を脅かしたのですが、それを神学の婢の地位に貶めたのがトマス・アクィナスでしたね…。

**第4問**

**問1 [26]正解 1 77%**

古代日本人の自然との関わり方の問題ですね。アニミズム的な要素と、和辻哲郎の風土の知識をから解く問題です。②と③はそれぞれ何型風土ですか？ ④が不正解なのは仏教的な来世観だからですね。

**問2 [27]正解 3 75%**

④の幽冥界は平田篤胤が主張した日本人の魂の行き場です。古事記日本書紀の世界観は高天原・葦原の中つ国・黄泉の国の三層構造です。

**問3 [28]正解 2 74%**

簡単な問題ばかりでごめんなさい。国生みの夫婦神といえばイザナキとイザナミですね。資料集 p.110 にはイラストも載っています。①のオホ(オ)クニヌシとスセリビメも夫婦ですが、スセリビメはスサノオの娘。③のアマテラスとスサノオはイザナキから生まれた姉弟です。資料集 p.111 の「身褌」を参照のこと。④は聞いたことがないと思いますが古事記に出てくる最初の神々です。

**問4 [29]正解 2 64%**

25%が③を選びましたが、古事記や日本書紀には大君の過ちや罪についても触れられています。

**問5 [30]正解 4 65%**

①はキリスト教の罪のイメージ。④古代の日本では病気も災害も悪い行いも外からやってくる「つみ」とらえられていました。

**第4問**

**問1 [31]正解 1 77%**

行基は奈良時代の遊行聖。道鏡は奈良時代の僧侶でありながら政治家であって権力欲はあっても民衆への布教などには興味がありません。同じ浄土信仰を持っていても、空也は平安中期で一遍は鎌倉時代。

**問2 [32]正解 1 31%**

まずは『三経義疏』の三経が維摩・勝鬘・法華であることを知っているかどうか。そのうえで①が正解で維摩経です。②は般若夫人ではなく、勝鬘夫人の勝鬘経。③は毘盧遮那仏の華嚴経。④は法華経っぽいですが、内容が誤り。三乗が方便で一乗こそが真の教えというのが法華一乗思想ですぞ。

**問3 [33]正解 4 15%**

これは難問でしたね。①の無量寿如来は阿弥陀如来の別称ですから、華嚴宗としては誤り。奈良の大仏＝毘盧遮那仏が華嚴経の仏です。②大乘菩薩戒を主張したのは最澄でした。③三論と成実の二宗は竜樹の唱えた中観派です。無着は世親の兄つまり唯識派です。④が正解。法相・俱舍宗は唯識派です。

**問4 [34]正解 4 62%**

法華経の中には大乘菩薩の一乗によって、すべての生きとし生けるものの救済可能性が説かれています。最澄の主張は「一切衆生悉有仏性」なので④が正解です。問題文の「差別的」に引っかかった人 22%は③を選びましたが、これはユダヤ・キリスト・イスラム教の神のイメージです。

**問5 [35]正解 3 29%**

この問題が難しかったか…。単純な知識を問う問題です。①『頭戒論』と④『山家学生式』は最澄の著作。②『三教指帰』と③『十住心論』はいずれも空海の著作ですが、②は空海留学前の儒教道教に対する仏教の優れたことを説く著作。正解は③「十の段階」というのがヒントのつもりだったのですが、引っ掛けと思ったのでしょうか？

**問6 [36]正解 2 60%**

①は一遍の言葉。②が正解で③は禅宗の概念。④の聖徳太子の概念「世間虚仮 唯物是真」を選んだ人が 15%いました。勉強してないバロメーター選択肢ですね。

**問7 [37]正解 2 50%**

これも資料読解に加えて思考判断能力を問いますが、法然の「専修念仏」を知っていれば②が答えであることは分かると思います。「一文不通」が一字も読めないという意味かなあと考えながら「称ふれば必ず生まる」は「南無阿弥陀仏」と称名すれば必ず往生するという意味と捉えれば、念仏の功德とは何かを選べるのでは？

**問8 [38]正解 1 46%**

これも単純な知識問題です。プリント参照です。ノコメントです。

**問9 [39]正解 4 49%**

これはちょっと難しかったか。道元の言葉として一番有

名なのは③「修証一等」ですが、「仏法の器」「自己をならうなり」も押さえておきたいフレーズです。資料集 p.125 参照です。④の「照千一隅」は資料集 p.117 参照ですね。国の宝は千里を照らし一隅を守り抜く天台の学僧であるとした『山家学生式』の最澄の言葉です。

#### 問 10 [40]正解 1 27%

日蓮が帰依する経典といえば、そう「法華経」ですね。法華経に描かれる仏は「久遠実成の本仏」と言われますが、それが①です。垂迹である人間釈迦（ゴータマ・シッタタ）の本地としての仏の姿ですよ。②は大日如来。③は阿弥陀如来。④は弥勒菩薩の説明です。

## 第 6 問

#### 問 1 [41]正解 2 47%

山崎闇斎の弟子たちは京都堀川に崎門学派を形成しましたが、すぐ側にあった伊藤仁斎の古義堂は古義学派や堀川学派と呼ばれていました。護園学派は資料集 p.141 参照ですが荻生徂徠の学派を指します。ちなみに南学派は山崎闇斎自身が所属した土佐の朱子学派です。

#### 問 2 [42]正解 1 68%

同じく伊藤仁斎の学派を問う問題。前の問題解説の通り、古義学派と呼ばれていました。ちなみに、②訓詁学は問題の 2 ページを見て下さい。下から 4 行目の「宋代に入ると、煩瑣にして空虚な字句注釈に陥った儒教の現状」とある部分がそれです。③古文辞学はいうまでもなく荻生徂徠の学派で、④古道は国学や神道のことを指します。

#### 問 3 [43]正解 2 48%

賀茂真淵の著作は『万葉考』ですが、他の著作もチェックしておきましょう。『雨月物語』は上田秋成。『十二支考』南方熊楠という明治の世界的な民俗学者。『万葉代匠記』は契沖の著作です。

#### 問 4 [44]正解 3 41%

③に述べられているとおり、中江藤樹のいう孝とは単なる親孝行のことだけではなく、宇宙の生成原理でありその根底には愛と敬があるということを説いています。②の説明は朱子学でいうところの敬です。29%が③を選んでいましたが、仁愛と偽りのない心といえば伊藤仁斎の誠でしょう！ ④は臣民道徳としての孝ですから教育勅語の概念です。

#### 問 5 [45]正解 2 30%

山崎闇斎といえば朱子学と神道の融合、垂加神道ですが、①は反本地垂迹説の伊勢神道。③は国学的な神道。④は良知がキーワードになります。そうです致良知の王陽明の思想です。

#### 問 6 [46]正解 2 36%

山鹿素行の説く土道は、それまでの武士道と異なり、儒家の説く道を追求し、農工商を率いて君子を目指すべきであるとしました。山本常朝の口述による『葉隠』では「死」を常に意識する生き方こそ武士道であるといっています。

#### 問 7 [47]正解 1 14%

これが最低正答率 14%の問題です。(T\_T)。資料集 p.141 の解説「道」に赤線が引いてあるように、人間の情愛の通った道、すなわち人々が往来するような道こそが本来の道だということです。②を答えた人が 50%いましたが、先王の道＝安天下の道といえば荻生徂徠でしょう。③の道は明らかに朱子学の道。④は親孝行な中江藤樹の道です。

#### 問 8 [48]正解 1 39%

これも正答率が低いですが、資料集 p.140 の荻生徂徠の生涯の所に「道徳と法の区別を求めて切腹を命じた」とあるとおりですが、「道」を政治的に解釈した徂徠は、個人的な感情に基づく私的な道徳を道と認めるのではなく、幕府の法的な統治の中に「道」を認めたのです。これは、徂徠の一貫した思想です。経世済民と安天下の道という観点から切腹が妥当と考えたわけです。

#### 問 9 [49]正解 2 37%

①は神道に儒教や仏教の影響を入れないということで適当です。③もこれは古事記日本書紀を重視した宣長の言葉です。④も道の解釈において儒家的学問の解釈を廃して、真心を強調する宣長の言葉。残るは②の「幽冥事」ですが、これは幽冥界の存在を主張し、因果応報説を復古神道に導入した平田篤胤の言葉です。

#### 問 10 [50]正解 3 73%

①『古道大意』と④の『古史伝』は平田篤胤の著作です。『自然真営道』は安藤昌益、『玉勝間』が宣長の著作でした。